

片桐 直人

高等司法研究科・准教授

[研究]

2021年度も①通貨・中央銀行制度も含む財政制度の憲法学的研究、②墓地法制も含む人の死を巡る法制度の憲法学的研究を中心に研究を進めた。①については、地方制度や会計制度にも研究の対象を広げ、国家の資金繰りの憲法学的分析を進め複数の論文を公表している。②についてはコロナ禍もあってフィールド・ワークの実施ができなかったが、姫路市墓地条例懇話会で座長を務めるなどアウトリーチが充実した。このほか、③判例分析についても複数の論考を公表している。

[教育]

憲法基礎1、憲法応用2、導入演習といった科目を担当した。今年度特筆すべき業績としては、判例教材の『精読憲法判例 統治編』(弘文堂)を共著で公表したほか、入門書『一歩先への憲法入門』(有斐閣)の第2版を上梓した。また法科大学院協会カリキュラム等検討委員会(主任山野目章夫早稲田大学教授)の未修者基礎教育検討小委員会の委員を務め、日本弁護士連合会と共同で全国的なシンポジウム(2021年6月19日)やFDセミナー(同年9月30日)を開催したほか、これらの活動の成果を、文部科学省令和3年度先導的大学改革推進委託事業「法科大学院における法学未修者教育の更なる充実に関する調査研究成果報告書」(一般社団法人法曹養成ネットワーク/法科大学院協会)に寄稿している。

[管理運営]

教務委員として新型コロナウイルス対応等及び新カリキュラムの導入につき教務委員長をサポートした。

[社会貢献]

宗教学会の理事を務めた。高槻市個人情報保護運営審議会、大和高田市個人情報保護運営審議会でそれぞれ会長を務めている。姫路市墓地、埋葬等に関する条例等検討懇話会で座長を務めた。奈良県個人情報保護審査会で副会長を務めている。枚方・寝屋川消防組合行政不服審査会委員を務めている。総務省「新たな社会経済情勢に即応するための地方財務会計制度に関する研究会」構成員、経済産業省「第四次産業革命による経済社会構造の変化と税制に関する研究会」構成員を務めている。